

# 1 江戸を「東京」に改める提案

慶応4(1868)年大木喬任と連名で「東京奠都の儀」を建白し、江戸を東京と改め新都を提案。その内容には東京一京都間を鉄道で結ぶことなどが盛り込まれていて、大木とともに東京の都市構想を進めました。



明治天皇が京都から東京へ行幸する様子を描いた浮世絵。歌川芳虎《東京府御東幸行烈図》【東京都江戸東京博物館蔵】

# 2 三権分立に基づく近代国家制度の設計

明治3(1870)年、立法と行政、司法の三権分立など具体的な国家制度を起草。司法権の独立を含む「政治制度上申案箇条」などにより近代化の制度を次々に設計しました。



【佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵】

# 江藤新平

天保5(1834)年に現在の佐賀市で生まれる。弘道館で学び、戊辰戦争で活躍後、明治政府で最初の司法卿となる。民主的な裁判制度や三権分立に基づく国家制度の構築に尽力した。

# 3 憲法や民法などの法典編纂

国民のために法を体系化し、政府と国民との関係を律する「国法」(憲法)、民と民との関係を律する「民法」の編纂に着手しました。

# 4 国民皆教育の導入

一部の人だけが受けていた教育を、身分や性別に関わらず、すべての国民が等しく受けることができる「国民皆教育」の導入を進言しました。

# 5 近代日本司法制度の父

初代司法卿に就任した江藤。全国に裁判所を設置し、弁護士制度を導入するなど、法の下での平等を軸に、民の権利を守り、誰でも公平な裁判ができるようにしました。現代に繋がる司法制度の根幹を主導してつくっていきました。



前列右から3人目が江藤新平。司法省高官とともに【佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵】

仕事早い！  
制度の検討が得意な江藤。司法卿となり制定した「司法職務定制」はなんと、10日で草案を作成し、40日で印刷したとも。その仕事の早さは秀逸でした。

先見性に優れていた！  
江戸城無血開城の時、他の人が見向きもしていなかった資料を接収した江藤。後に大いに役立つ資料の散逸を防ぎました。

江藤新平の海外行免状



江藤新平の海外行免状【佐賀県立図書館蔵】

江藤新平の肖像としてよく見る写真は、実はパスポートに使われたもの！パスポートは、当時の外務卿であった副島種臣が発行しています。しかし、三条実美は江藤に政府を不在にさせては困ると、大隈重信を通じて延期させました。

江藤って実は...  
ヨーロッパ視察に行くはずだった！

# 1 江藤新平特別展が常設展示化

佐賀城本丸歴史館で約2カ月開催した江藤新平特別展。現在、常設展示となっており、江藤の功績にいつでも触れることができます。



# TOPICS 江藤新平復権プロジェクト

# 2 第7回さが維新まつり

11月17日に行われたさが維新まつり。俳優の迫田孝也さんが江藤新平役で参加して、イベントを盛り上げました！



# 3 江藤新平・島義勇復権・顕彰式典が開催！

江藤と島の功績を顕彰し、復権の気運を盛り上げます！

- とき 令和7年2月1日(土)
- 第1部 【式典】 13:30~14:25(予定)  
場所 博物館東側駐車場(佐賀市内)
- 第2部 【シンポジウム】 15:00~17:00(予定)  
場所 佐賀城本丸歴史館 外御書院(佐賀市内)  
(要事前申し込み・抽選) 申し込みはこちら
- ※第1部・第2部ともにアーカイブ配信あり
- お問い合わせ 文化課 0952(25)7594



# 先人たちの「志」を未来へ

新年あけましておめでとうございませす。遡ること170年以上前の元旦。佐賀の偉人として、世に羽ばたく前の江藤新平は当時21歳。新春の風を一身に受けながら、一編の漢詩をしたためました。

萬里東風度  
千山草木新  
我公征未返  
遙拜崎陽春

遠く世界まで東風は吹き渡り、山の草木は芽吹き始めている。わが殿直正公は長崎での異国の地から殿の新春を祝おう。

それから20年のうちに江藤は江戸開城という歴史の大きな節目に立ち合ったことを皮切りに、明治政府の中心として時代を駆け抜けました。三権分立に基づく国家制度の設計や国民皆教育の導入など、その功績は私たち佐賀県の誇りとして、決して忘れてはならないものです。昨年の没後150年を超えて、江藤新平の復権も次の段階へと進んでいきます。江藤新平が貫いた「志」を、一緒に未来へとつなげていきたいと思います。

佐賀県知事 山口祥義

